

序. 計画策定の背景と目的

本市の人口は緩やかな増加傾向にあります。将来的には人口減少局面を迎えるとともに、高齢化の進展が予測されています。また、本市の公共交通利用者数は概ね横ばい傾向にありますが、長期的には減少する人口や高齢化の進展に加え、モータリゼーションの進行などを背景として、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下による公共交通利用者の減少など、地域の公共交通が成り立たなくなる可能性も予測されています。

これら背景を踏まえ、まちづくり分野では2014年に都市再生特別措置法等の一部を改正する法律が施行され、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とするまちづくりを目的とした立地適正化計画が策定できるようになりました。また、公共交通分野では2014年に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律が施行され、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークを形成することを目的とした地域公共交通網形成計画が策定できるようになりました。

こうした中、知立市では知立駅周辺のまちづくりや上位・関連計画で示される将来都市構造と連動した地域公共交通網の再構築を図る必要性が高まっています。また、地域公共交通は、単に人の移動手段としての役割に留まることがなく、まちのにぎわいの創出や交流の促進、コンパクトなまちづくりの実現に寄与する役割などが期待されています。

これらより、2017年に実施した市民およびバス利用者のアンケート結果や、公共交通の現状に基づく地域公共交通の課題を踏まえるとともに、2018年に策定した知立市立地適正化計画で示す将来都市構造の実現に向け、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークを形成することを目的とし、多様な主体で構成する知立市総合公共交通会議における意見・意向を受けつつ、知立市地域公共交通網形成計画を策定することとしました。

